

令和8年度までの目標	国語		算数・数学	
	自校A B層の割合	70%	自校A B層の割合	70%
令和5年度の成果	自校A B層の割合	45%	自校A B層の割合	46%

目標達成に向けた取組

3つの観点	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
学校全体の取組	<ul style="list-style-type: none"> 全教科において、校内研究を中心に原則問題解決型または課題解決の過程を重視した授業の実施。 主任教諭による校内OJTを年間通して実施。 全学年における教科担任制の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 東京ベーシックドリル診断シートを年3回以上実施。 漢字・計算コンテストを長期休業明けに実施。 算数科の基礎基本的内容の習熟を図る「マッスルタイム」を週1回の昼学習で実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭と連携し、家庭学習の習慣を身に付けさせる。 その日の学習の定着を意識して課題を出す。（特に国語科・算数科） 週1回以上、タブレットを活用した家庭学習を出す。
特に支援が必要な児童・生徒への手立て	<ul style="list-style-type: none"> 個に応じた指導を行うため、算数習熟度別指導の全学年実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 民間による放課後補習教室（トライ）を毎日実施。（C層下部～D層中心） 週2回の補習教室（チャレンジタイム）を実施（C層中心、ミライシード活用） 	<ul style="list-style-type: none"> 「家庭学習のてびき」を児童と保護者に周知し、家庭の協力を得られるよう、連携に努める。
成果指標	<ul style="list-style-type: none"> 全国学力学習状況調査児童質問紙 「今までの授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」における肯定的回答8割以上。 	<ul style="list-style-type: none"> 東京ベーシックドリル診断シート8割達成者を80パーセント以上。 	<ul style="list-style-type: none"> 全国学力学習状況調査児童質問紙 「授業時間以外の勉強時間」における1時間以上の回答9割以上。